

2026年
日時 **6月18日 木**
18:45-20:30(6時限)

URL UTAS掲示板のお知らせ、
またはUTokyo Portalの通知/
NoticesにてZoomのURLを確認し、
アクセスして下さい。

対象 東大の学生・教職員であれば誰でも自由に
参加できます(無料、事前申込不要)

進行 講演(70分)/質疑応答(30分)

Zoomによるオンライン開催

講師

株式会社カルマリオン 取締役
兼 東京大学物性研究所 特任准教授

乾 幸地氏

物質の 自動設計手法

研究開発とディープテックスタートアップの立ち上げ

セミナー概要

現在、大学での研究活動とスタートアップでの経営の二足のわらじを履いています。大学の方では、シミュレーションとAIを組み合わせた物質の自動設計技術開発をしており、スタートアップでは、その技術を社会応用するために活動しております。最初に、研究内容について紹介した後で、それを社会実装しようとした時に躓いた点や、試行錯誤の結果現在はこういったビジネスとなっているのかをお話出来ればと思います。最近、大学の技術発ベンチャーの知合いが増えてきましたが、自分も含めて研究をそのままビジネスにしようとして素直にうまくいった事例はほとんどないと思います。今後、研究を元にベンチャーを作ろうと思っている方には参考にして頂けるかもしれません。

講師略歴

2011年東京大学工学部物理工学科卒業。
2015年に博士課程を中退し、リクルートに就職。機械学習エンジニアをしながら新規事業開発に携わる。2019年にベンチャー企業ベルフェイスに転職しAI部門の立ち上げを行う。その後大学に戻り2022年に博士を取得。理研量子コンピュータセンターにて研究をしながらカルマリオンの立ち上げを行う。東京大学工学系研究科特任助教を経て、現在に至る。

